

令和3年度 卒業式式辞

本日、ここに保護者の皆様のご臨席を賜り、令和三年度東京都立豊多摩高等学校第七十四回卒業式を挙行できますことは、本校にとりまして、この上ない慶びとするところであります。

保護者の皆様、心からお祝い申し上げます。お子様はこれまで三年間、心身ともに成長され今日の卒業式を迎えました。先ほど、担任から名前を呼ばれて凛々しく立ち上がる姿に、これまでのご苦労が実を結ぶ瞬間を実感されたのではないのでしょうか。

卒業生の皆さん、おめでとうございます。皆さんは豊多摩高校 第74期卒業生です。今日、豊多摩の同窓生は皆さんを合わせて26,247名となりました。同窓生は、皆さん母校愛に溢れた方々で、今も豊多摩に足を運び、学校のために尽くしてくださる方がたくさんいらっしゃいます。皆さんも同窓生として母校豊多摩を愛してくださることを願っています。

さて、これからますます加速するグローバル社会、IT社会にあって、皆さんには、豊多摩高校で学んだことを生かして欲しいと思っています。日々の学習や部活動などを通して身につけた積極性や主体性、協調性やコミュニケーション能力などは、いつか必ず世界の平和を築く礎、予測不能な社会を生きる対応力となって具現化するはずです。ここで磨いた自分自身を信じてください。

しかし一方で、皆さんがこの晴れの日を迎えることができたのは、ご自身の努力もさることながら、支えてくれた方々のお陰だということを忘れてないでください。素直に感謝と喜びをもって行動し、社会に貢献する人になってほしい。

今、世界のある国では、罪なき人の命が奪われ、家族と引き裂かれ、祖国を捨て逃げ延びている人々もいます。戦争という非人道的行為も、元をたどれば人の私たちの心の奥底に巣くう闇なるもの、それが本当の敵なのではないかと私は考えています。傲慢、欲望、敵意、嘘…程度の差こそあれ、誰しもが抱くものではないのでしょうか。もしそうであるなら、私たち一人一人が平和のためにできることがあるはずです。絶えず沸き起こる自己中心を抑え、相手を認め、理解し、力を貸してくれたことや、ともに生きていることに感謝する。悪を懲らしめるのではなく、悪の連鎖を断ち切って、善や愛を発信すること。とてつもなく遠い道のりかもしれませんが、それしか方法はないのではないかと思います。今、現地の人々は、感謝の気持ちなど、到底抱くことができない虚無感に浸り、言いやうのない憎しみや悲しみに暮れていることでしょう。そして、何気ない日常こそがかけがえのない日々だったと強く感じているのではないのでしょうか。

私たちは、毎日の出来事をあたりまえだと思って過ごしています。毎朝、太陽が昇る、目が覚め、ご飯を食べて、学校に通い、友だちと会える。そんな毎日があたりまえ。見える、聞

こえる、感じる、生きているのがあたりまえ。今日と同じ日が明日も繰り返されると、誰もが思っている。でも、そんなあたりまえだと思うことが、実はありがたい、奇跡の連続なのです。今日、この「ハレ」の日だからこそ、日常、これを「ケ」といいますが、日常への感謝を噛みしめてください。

二年前、皆さんがもう少しで一年生を終えようとしていた三学期のこと、新型コロナウイルスによる感染爆発が起きました。以来、私たちの生活は一変しました。マスクの着用、アクリル板の仕切り、密の回避など、さまざまな制約が生じています。「さあ集まろう。手に手を取って、一緒に作ろう。」といったそれまでの学校の「あたりまえ」が一瞬にして崩れました。学校は休校期間を経て、自宅学習やオンライン授業を余儀なくされ、皆さんの活動の欲求を満たしてあげることができない不憫な思いの連続でした。

しかし、そんな時代にあっても、皆さんは実によく活躍してくれました。私が共にしたこの一年間を見ても、動画配信の記念祭…楽しませてもらいました。学年別体育祭…躍動感を目を見張るものでした。東京都上位を争い、関東を狙う部活動、そして地道な学習に裏付けられた輝かしい進路実現など、私たち教職員は、前向きに取り組む皆さんの姿を誇りとしてきました。「ロストジェネレーションなんて言わせない。なんでも来い。私たちはウェルカムジェネレーションだ。」…BTSの言葉を、皆さんは体現してくれました。

卒業生の皆さん、ここ豊多摩高校でともに過ごし、学ぶことができた奇跡に心から感謝しています。皆さんが学んだ、ここ豊多摩高校での日々が、生涯皆さんの心に刻まれますよう願ってやみません。

保護者の皆様に申し上げます。お子様方が、目指した道で立派な社会人として大成されることを祈ります。これまで、学校として行き届かぬ点多々あったかと存じますが、本校の教育活動にご理解とご協力を賜りましたことに感謝申し上げます、式辞といたします。

令和4年3月12日

東京都立豊多摩高等学校長

枡倉 和則